(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号

特許第6144245号
(P6144245)

(45)発行日　平成29年6月7日(2017.6.7)　(24)登録日　平成29年5月19日(2017.5.19)

(51)Int.Cl.		F I		
G06F 3/0484	(2013.01)	G06F	3/0484	
G09F 19/00	(2006.01)	G09F	19/00	Z
G06Q 30/02	(2012.01)	G06Q	30/02	446

請求項の数 13　(全 28 頁)

(21)出願番号　特願2014-225009(P2014-225009)
(22)出願日　平成26年11月5日(2014.11.5)
(62)分割の表示　特願2013-180677(P2013-180677)の分割
原出願日　平成25年8月30日(2013.8.30)
(65)公開番号　特開2015-53073(P2015-53073A)
(43)公開日　平成27年3月19日(2015.3.19)
審査請求日　平成27年12月15日(2015.12.15)

(73)特許権者　500257300
ヤフー株式会社
東京都千代田区紀尾井町１番３号
(74)代理人　110002147
特許業務法人酒井国際特許事務所
(72)発明者　中山　一紀
東京都港区赤坂九丁目７番１号　ヤフー株式会社内
(72)発明者　李　ナレ
東京都港区赤坂九丁目７番１号　ヤフー株式会社内
(72)発明者　鈴木　辰顕
東京都港区赤坂九丁目７番１号　ヤフー株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】端末装置、配信装置、表示方法及び表示プログラム

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
端末装置であって、
第１コンテンツと第２コンテンツとを受け付ける受付部と、
前記端末装置に関する物理的な状態を検知する検知部と、
前記第１コンテンツと前記第２コンテンツとを重ねて表示するとともに、前記第１コンテンツに含まれる所定の表示領域と重なる前記第２コンテンツの領域を選択可能な状態で表示し、かつ、前記第１コンテンツに含まれる所定の表示領域と重ならない前記第２コンテンツの領域を選択不可能な状態で表示し、前記検知部による検知結果に応じて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる表示部と
を備えたことを特徴とする端末装置。
【請求項２】
前記表示部は、
前記第１コンテンツと重ならない前記第２コンテンツの領域を選択可能な状態で表示する、
ことを特徴とする請求項１に記載の端末装置。
【請求項３】
前記表示部は、
前記第１コンテンツが表示されない領域と重なる前記第２コンテンツの領域を選択可能な状態で表示する、

ことを特徴とする請求項１又は２に記載の端末装置。
【請求項４】
前記表示部は、
前記検知部による検知結果に応じて前記第２コンテンツの表示位置を変化させる、
ことを特徴とする請求項１～３のいずれか一つに記載の端末装置。
【請求項５】
前記表示部は、
表示位置を変化させた後の前記第２コンテンツと重なる前記第１コンテンツの領域に所定の情報が表示される場合に、前記第１コンテンツの前面に前記第２コンテンツを選択可能な状態で表示する、
ことを特徴とする請求項４に記載の端末装置。
【請求項６】
前記表示部は、
前記第２コンテンツにおける変化後の表示態様が所定の条件を満たした場合に、前記第１コンテンツの前面に前記第２コンテンツを選択可能な状態で表示する、
ことを特徴とする請求項１～５のいずれか一つに記載の端末装置。
【請求項７】
前記表示部は、
前記検知部による検知結果に応じて、表示対象とする前記第２コンテンツの領域を変化させる、
ことを特徴とする請求項１～６のいずれか一つに記載の端末装置。
【請求項８】
前記検知部は、
前記物理的な状態として前記端末装置における物理的な動きの変化を検知し、
前記表示部は、
前記検知部によって検知された動きの変化と連動させて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる、
ことを特徴とする請求項１～７のいずれか一つに記載の端末装置。
【請求項９】
前記検知部は、
前記物理的な状態として前記端末装置の周囲における照度を検知し、
前記表示部は、
前記検知部によって検知された照度と連動させて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる、
ことを特徴とする請求項１～８のいずれか一つに記載の端末装置。
【請求項１０】
前記表示部は、
前記第１コンテンツと重なる前記第２コンテンツを前記第１コンテンツよりも透過性のある状態で表示する、
ことを特徴とする請求項１～９のいずれか一つに記載の端末装置。
【請求項１１】
端末装置に関する物理的な状態を検知する前記端末装置から、第１コンテンツの取得要求を受け付ける受付部と、
前記受付部によって前記取得要求が受け付けられた場合に、第２コンテンツとともに表示される前記第１コンテンツと、前記第１コンテンツに含まれる所定の表示領域と重なる前記第２コンテンツの領域を選択可能な状態で表示させ、かつ、前記第１コンテンツに含まれる所定の領域と重ならない前記第２コンテンツの領域を選択不可能な状態で表示させる制御情報であって、前記端末装置によって検知された物理的な状態に応じて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる制御情報とを配信する配信部と
を備えたことを特徴とする配信装置。

【請求項１２】
端末装置が実行する表示方法であって、
第１コンテンツと第２コンテンツとを受け付ける受付工程と、
前記第１コンテンツと前記第２コンテンツとを重ねて表示するとともに、前記第１コンテンツに含まれる所定の表示領域と重なる前記第２コンテンツの領域を選択可能な状態で表示し、かつ、前記第１コンテンツに含まれる所定の表示領域と重ならない前記第２コンテンツの領域を選択不可能な状態で表示し、前記端末装置に関する物理的な状態を検知する検知部による検知結果に応じて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる表示工程と
を含んだことを特徴とする表示方法。
【請求項１３】
端末装置に実行させる表示プログラムであって、
第１コンテンツと第２コンテンツとを受け付ける受付手順と、
前記第１コンテンツと前記第２コンテンツとを重ねて表示するとともに、前記第１コンテンツに含まれる所定の表示領域と重なる前記第２コンテンツの領域を選択可能な状態で表示し、かつ、前記第１コンテンツに含まれる所定の表示領域と重ならない前記第２コンテンツの領域を選択不可能な状態で表示し、前記端末装置に関する物理的な状態を検知する検知部による検知結果に応じて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる表示手順と
を前記端末装置に実行させることを特徴とする表示プログラム。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、端末装置、配信装置、表示方法及び表示プログラムに関する。
【背景技術】
【０００２】
近年、インターネットを介した広告配信が盛んに行われている。例えば、ウェブページの所定の位置に企業や商品等に関する広告コンテンツを表示することが行われている。このような広告コンテンツは、例えば、静止画像や動画像やテキストデータなどのアイコンであり、広告主によって提供されるウェブページ（以下、広告ページと表記する）へのハイパーリンク（以下、単に「リンク」と表記する）が張られる。そして、ユーザによって広告コンテンツがクリックされた場合に、広告ページが表示される。
【０００３】
広告表示に関する技術として、第１のレイヤに情報コンテンツを表示し、情報コンテンツの後ろの第２のレイヤに広告コンテンツを表示する技術が提案されている。また、ウェブコンテンツに広告画像を重ねて表示する際に、ウェブコンテンツのリンク機能を無効にする技術が提案されている。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００４】
【特許文献１】特開２００３－０２２０４２号公報
【特許文献２】特開２００６－０９８８８８号公報
【特許文献３】特表２０１０－５２６４９４号公報
【特許文献４】特開２０１２－１３７８０５号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００５】
しかしながら、上記の従来技術では、広告コンテンツ等のコンテンツに対してユーザを注目させやすくすることができるとは限らない。具体的には、第２のレイヤに広告コンテンツを表示する従来技術では、情報コンテンツの後ろに広告コンテンツを表示しているに過ぎないので、広告コンテンツの広告効果を向上させることができるとは限らない。また、ウェブコンテンツのリンク機能を無効にする従来技術では、ウェブコンテンツの印象が

悪くなることから広告効果の低下を招くおそれがある。このようなことから、上記の従来技術では、広告コンテンツ等のコンテンツに対してユーザを注目させやすくすることができるとは限らない。

【０００６】

本願は、上記に鑑みてなされたものであって、広告コンテンツ等のコンテンツに対してユーザを注目させやすくすることができる端末装置、配信装置、表示方法及び表示プログラムを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【０００７】

本願に係る端末装置は、第１コンテンツと第２コンテンツとを受け付ける受付部と、前記端末装置に関する物理的な状態を検知する検知部と、前記第１コンテンツと前記第２コンテンツとを重ねて表示するとともに、前記検知部による検知結果に応じて前記第２コンテンツの表示態様を変化させる表示部とを備えたことを特徴とする。

【発明の効果】

【０００８】

実施形態の一態様によれば、広告コンテンツ等のコンテンツに対してユーザを注目させやすくすることができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【０００９】

【図１】図１は、実施形態に係る広告表示処理の一例を示す図である。
【図２】図２は、実施形態に係る広告配信システムの構成例を示す図である。
【図３】図３は、実施形態に係る広告装置の構成例を示す図である。
【図４】図４は、実施形態に係る広告コンテンツ記憶部の一例を示す図である。
【図５】図５は、実施形態に係る配信装置の構成例を示す図である。
【図６】図６は、実施形態に係る端末装置の構成例を示す図である。
【図７】図７は、実施形態に係る広告表示処理の一例を示す図である。
【図８】図８は、実施形態に係る広告配信システムによる広告配信処理手順を示すシーケンス図である。
【図９】図９は、実施形態に係る端末装置による広告表示処理手順を示すフローチャートである。
【図１０】図１０は、変形例に係る広告表示処理の一例を示す図である。
【図１１】図１１は、変形例に係る広告表示処理の一例を示す図である。
【図１２】図１２は、変形例に係る広告表示処理の一例を示す図である。
【図１３】図１３は、変形例に係る広告表示処理の一例を示す図である。
【図１４】図１４は、変形例に係る広告表示処理の一例を示す図である。
【図１５】図１５は、変形例に係る広告表示処理の一例を示す図である。
【図１６】図１６は、端末装置の機能を実現するコンピュータの一例を示すハードウェア構成図である。

【発明を実施するための形態】

【００１０】

以下に、本願に係る端末装置、配信装置、表示方法及び表示プログラムを実施するための形態（以下、「実施形態」と呼ぶ）について図面を参照しつつ詳細に説明する。なお、この実施形態により本願に係る端末装置、配信装置、表示方法及び表示プログラムが限定されるものではない。また、以下の各実施形態において同一の部位には同一の符号を付し、重複する説明は省略される。

【００１１】

〔１．広告表示処理〕

まず、図１を用いて、実施形態に係る広告表示処理の一例について説明する。図１は、実施形態に係る広告表示処理の一例を示す図である。図１に示した端末装置１０は、タブレット端末であり、液晶ディスプレイ等の出力部１３を有する。図１では、端末装置１０

によって、ウェブページＣ１０及び広告コンテンツＡ１０がウェブブラウザに表示される例を示す。

【００１２】

以下の説明において、横方向（ｘ方向）が端末装置１０の横方向に対応し、縦方向（ｙ方向）が端末装置１０の縦方向に対応し、奥行き方向（ｚ方向）がｘｙ平面に垂直な方向であって端末装置１０の表示面に垂直な方向に対応するものとする。

【００１３】

図１に示すように、ウェブページＣ１０は、記事等の各種情報が表示されるコンテンツ表示領域ＣＲ１１～ＣＲ１４を含む。コンテンツ表示領域ＣＲ１１～ＣＲ１４に表示される各種情報には、ウェブページＣ１０以外の他のウェブページへのリンクが張られる場合がある。図１の例では、コンテンツ表示領域ＣＲ１２に表示される「サービスｖ１」～「サービスｖ５」及び「ニュースｎ１」～「ニュースｎ５」や、コンテンツ表示領域ＣＲ１３に表示される「トピックスｔ１」～「トピックスｔ５」及び「レストランｒ１」～「レストランｒ５」等は、他のウェブページへのリンクが張られているアンカーテキスト（anchor　text）に該当する。

【００１４】

なお、図１では、ウェブページＣ１０にアンカーテキストが表示される例を示した。しかし、ウェブページＣ１０には、他のウェブページへのリンクが張られているボタンや画像が表示される場合もある。以下では、他のウェブページへのリンクが張られているアンカーテキストやボタンや画像等が表示される領域をリンク領域と表記する場合がある。

【００１５】

広告コンテンツＡ１０は、静止画像や動画像であり、広告主によって提供される広告ページへのリンクが張られる。例えば、図１に示した広告コンテンツＡ１０には、広告主「Ｘスポーツ店」によって提供される広告ページへのリンクが張られる。なお、広告コンテンツＡ１０のリンク先である広告ページは、ランディングページ（Landing　Page）等と呼ばれる場合がある。

【００１６】

ここで、ウェブページＣ１０の表示幅は、予め決められているものとする。また、端末装置１０は、ウェブページＣ１０の表示幅よりも幅が広いウェブブラウザにウェブページＣ１０を表示するものとする。この場合、ウェブブラウザの両端には、ウェブページＣ１０が表示されない未使用領域ＡＲ１１及びＡＲ１２が形成される。

【００１７】

そして、実施形態に係る端末装置１０は、図１の左側に示すように、ウェブページＣ１０と広告コンテンツＡ１０とを重ねて表示する。図１の例の場合、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０の一部が未使用領域ＡＲ１１と重なるように、広告コンテンツＡ１０を表示する。

【００１８】

具体的には、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０のうち、ウェブページＣ１０と重ならない領域Ａ１１をクリック可能な状態で表示する。言い換えれば、端末装置１０は、未使用領域ＡＲ１１と重なる広告コンテンツＡ１０の領域Ａ１１をクリック可能な状態で表示する。このとき、端末装置１０は、領域Ａ１１を加工せずに、領域Ａ１１に対応する画像自体を表示する。例えば、端末装置１０は、未使用領域ＡＲ１１上に広告コンテンツＡ１０の領域Ａ１１を表示する。

【００１９】

また、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０のうち、ウェブページＣ１０と重なる領域Ａ１２をクリック不可能な状態で表示する。言い換えれば、端末装置１０は、未使用領域ＡＲ１１と重ならない広告コンテンツＡ１０の領域Ａ１２をクリック不可能な状態で表示する。このとき、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０の領域Ａ１２とウェブページＣ１０との双方をユーザが視認できるように、広告コンテンツＡ１０の領域Ａ１２とウェブページＣ１０とを重ねて表示する。図１の例の場合、端末装置１０は、広告コンテンツ

Ａ１０の領域Ａ１２を灰色等の一色の画素に加工し、加工後の領域Ａ１２とウェブページＣ１０とを重ねて表示する。これにより、端末装置１０は、ウェブページＣ１０の裏側に位置するような影として、広告コンテンツＡ１０の領域Ａ１２を表示する。また、端末装置１０は、ウェブページＣ１０のリンク領域のうち、広告コンテンツＡ１０の領域Ａ１２と重なるリンク領域をクリック可能な状態で表示する。図１の例の場合、端末装置１０は、領域Ａ１２と重なるアンカーテキスト「サービスｖ５」、「ニュースｎ１」、「ニュースｎ２」及び「ニュースｎ３」をクリック可能な状態で表示する。

【００２０】

なお、上述した「クリック可能な状態」とは、広告コンテンツ等のコンテンツが選択可能な状態を示し、クリックされた場合に他のウェブページ（広告ページを含む）に遷移可能な状態を示す。また、「クリック不可能な状態」とは、広告コンテンツ等のコンテンツが選択不可能な状態を示し、クリックされた場合であっても他のウェブページ（広告ページを含む）に遷移しない状態を示す。例えば、端末装置１０は、ウェブページＣ１０のリンク領域と重ならない広告コンテンツＡ１０の領域がクリックされた場合、広告ページにアクセスすることでウェブページＣ１０から広告ページに遷移させる。一方、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０と重ねて表示されるアンカーテキスト「トピックスｔ２」がクリックされた場合、アンカーテキスト「トピックスｔ２」のリンク先にアクセスする。なお、以下では、クリック可能な状態で表示される領域を「クリック領域」と表記し、クリック不可能な状態で表示される領域を「非クリック領域」と表記する場合がある。

【００２１】

また、実施形態に係る端末装置１０は、自装置である端末装置１０に関する物理的な状態を検知し、検知結果に応じて広告コンテンツＡ１０の表示態様を変化させる。ここでは、端末装置１０は、ジャイロセンサ（ジャイロスコープや角速度センサ等と呼ばれる場合もある）が搭載されているものとする。そして、端末装置１０は、ジャイロセンサによって、端末装置１０における物理的な動きの変化を検知する。

【００２２】

例えば、図１の右側に示すように、端末装置１０は、ユーザによって、奥行き方向（ｚ方向）を中心軸とする円弧状に傾けられたものとする。この場合、端末装置１０は、端末装置１０が傾けられた方向Ｆ１１に広告コンテンツＡ１０を移動させる。このとき、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０が転がるように、広告コンテンツＡ１０を移動させるとともに回転させる。

【００２３】

そして、端末装置１０は、ウェブページＣ１０に対する広告コンテンツＡ１０における表示位置の変化に応じて、広告コンテンツＡ１０のクリック領域及び非クリック領域を変動させる。具体的には、端末装置１０は、図１の右側に示すように、移動後の広告コンテンツＡ１０のうち、未使用領域ＡＲ１２と重なる領域Ａ１３をクリック領域とし、ウェブページＣ１０と重なる領域Ａ１４を非クリック領域とする。そして、端末装置１０は、図１の左側の例と同様に、クリック領域である領域Ａ１３をクリック可能な状態で表示するとともに、非クリック領域である領域Ａ１４をクリック不可能な状態で表示する。

【００２４】

また、ここでは図示することを省略するが、端末装置１０は、移動後の広告コンテンツＡ１０が未使用領域ＡＲ１２に到達した場合には、未使用領域ＡＲ１２と重なる広告コンテンツＡ１０の領域を新たなクリック領域とする。そして、端末装置１０は、新たなクリック領域をクリック可能な状態、かつ、新たなクリック領域に対応する画像を未使用領域ＡＲ１２上に表示する。

【００２５】

このように、実施形態に係る端末装置１０は、端末装置１０に関する物理的な状態に応じて広告コンテンツＡ１０の表示態様を変化させる。これにより、端末装置１０は、ユーザを広告コンテンツＡ１０に注目させることができるので、広告コンテンツＡ１０の広告効果を向上させることができる。例えば、図１に示した端末装置１０は、端末装置１０を

傾けるユーザ操作と連動させて広告コンテンツＡ１０を移動させるので、ユーザを広告コンテンツＡ１０に注目させることができる。この結果、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０の広告効果を向上させることができる。

【００２６】

さらに、実施形態に係る端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０の非クリック領域を影として表示する。このため、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０をユーザに強く印象付けることができる。例えば、広告コンテンツＡ１０とウェブページＣ１０とが重なる場合には、広告コンテンツＡ１０を非表示とすることも考えられる。しかし、未使用領域ＡＲ１１及びＡＲ１２に広告コンテンツＡ１０が表示されるだけでは、ユーザの視界に未使用領域ＡＲ１１及びＡＲ１２が入らない限り、広告コンテンツＡ１０はユーザに注目されにくい。実施形態に係る端末装置１０は、ウェブページＣ１０と重なる広告コンテンツＡ１０を影として表示することで、ユーザの視界に未使用領域ＡＲ１１及びＡＲ１２が入らない場合であっても、広告コンテンツＡ１０をユーザに注目させることができる。この結果、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０の広告効果を向上させることができる。

【００２７】

以下、上述した広告表示処理を実現する端末装置１０等について説明する。なお、上記では説明を省略したが、上述したウェブページＣ１０には、ウェブページＣ１０及び広告コンテンツＡ１０の表示態様を制御する制御情報が含まれる。そして、端末装置１０は、制御情報に従って上述した広告表示処理を行う。このような制御情報については後述する。

【００２８】

〔２．広告配信システムの構成〕

次に、図２を用いて、実施形態に係る広告配信システムの構成について説明する。図２は、実施形態に係る広告配信システム１の構成例を示す図である。図２に示すように、広告配信システム１は、端末装置１０と、広告主端末２０と、広告装置３０と、配信装置１００とを含む。端末装置１０、広告主端末２０、広告装置３０及び配信装置１００は、ネットワークＮを介して有線又は無線により通信可能に接続される。なお、図２に示す広告配信システム１には、複数台の端末装置１０や、複数台の広告主端末２０や、複数台の広告装置３０や、複数台の配信装置１００が含まれてもよい。

【００２９】

端末装置１０は、ウェブページを閲覧するユーザによって利用される情報処理装置である。例えば、端末装置１０は、デスクトップ型ＰＣ（Personal Computer）や、ノート型ＰＣや、タブレット端末や、携帯電話機や、ＰＤＡ（Personal Digital Assistant）等である。また、端末装置１０は、ユーザによる操作に従って、配信装置１００からウェブページを取得し、取得したウェブページを表示する。また、端末装置１０は、ウェブページに後述する広告取得命令が含まれる場合には、広告装置３０から広告コンテンツを取得し、取得した広告コンテンツをウェブページとともに表示する。

【００３０】

広告主端末２０は、広告主によって利用される情報処理装置である。例えば、広告主端末２０は、デスクトップ型ＰＣや、ノート型ＰＣや、タブレット端末や、携帯電話機や、ＰＤＡ等である。また、広告主端末２０は、広告主による操作に従って、広告コンテンツを広告装置３０に入稿する。例えば、広告主端末２０は、広告コンテンツとして、静止画像や、動画像や、テキストデータや、広告主が管理する広告主サーバによって配信される広告ページにアクセスするためのＵＲＬ（Uniform Resource Locator）などを広告装置３０に入稿する。

【００３１】

なお、広告主は、広告コンテンツの入稿を代理店に依頼する場合がある。この場合、広告装置３０に広告コンテンツを入稿するのは代理店となる。以下では、「広告主」といった表記は、広告主だけでなく代理店を含む概念であり、「広告主端末」といった表記は、広告主端末２０だけでなく代理店によって利用される代理店装置を含む概念であるものと

する。
【００３２】
広告装置３０は、広告主端末２０から入稿された広告コンテンツを配信するサーバ装置である。例えば、広告装置３０は、端末装置１０からアクセスされた場合に、広告コンテンツを端末装置１０に配信する。
【００３３】
配信装置１００は、端末装置１０にウェブページを配信するウェブサーバ等である。例えば、配信装置１００は、ニュースサイト、オークションサイト、天気予報サイト、ショッピングサイト、ファイナンス（株価）サイト、路線検索サイト、地図提供サイト、旅行サイト、飲食店紹介サイト、ウェブブログなどに関する各種ウェブページを配信する。
【００３４】
配信装置１００によって配信されるウェブページは、例えば、ＨＴＭＬ（HyperText Markup Language）により記述されたＨＴＭＬファイルや、ＸＭＬ（Extensible Markup Language）により記述されたＸＭＬファイル等により形成される。そして、配信装置１００によって配信されるウェブページには、ウェブページ及び広告コンテンツの表示態様を制御する制御情報が含まれる。この制御情報は、例えば、ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ（登録商標）やＣＳＳ（Cascading Style Sheets）等のスクリプト言語により、ウェブページを形成するＨＴＭＬファイル等に記述される。
【００３５】
また、配信装置１００によって配信されるウェブページには、広告取得命令が含まれる。例えば、ウェブページを形成するＨＴＭＬファイル等には、広告装置３０のＵＲＬ等が広告取得命令として記述される。この場合、端末装置１０は、ＨＴＭＬファイル等に記述されているＵＲＬにアクセスすることで、広告装置３０から広告コンテンツを取得する。
【００３６】
なお、配信装置１００から端末装置１０に配信される各種データは、実際にはウェブページを形成するＨＴＭＬファイルや画像等であるが、以下では、配信装置１００から端末装置１０に配信される各種データを「ウェブページ」と表記する場合がある。
【００３７】
〔３．広告装置の構成〕
次に、図３を用いて、実施形態に係る広告装置３０の構成について説明する。図３は、実施形態に係る広告装置３０の構成例を示す図である。図３に示すように、広告装置３０は、通信部３１と、広告コンテンツ記憶部３２と、制御部３３とを有する。
【００３８】
通信部３１は、例えば、ＮＩＣ（Network Interface Card）等によって実現される。そして、通信部３１は、ネットワークＮと有線又は無線で接続され、端末装置１０や広告主端末２０や配信装置１００との間で情報の送受信を行う。
【００３９】
広告コンテンツ記憶部３２は、例えば、ＲＡＭ（Random Access Memory)、フラッシュメモリ（Flash Memory）等の半導体メモリ素子、または、ハードディスク、光ディスク等の記憶装置によって実現される。そして、広告コンテンツ記憶部３２は、広告主端末２０から入稿された広告コンテンツに関する各種情報を記憶する。
【００４０】
ここで、図４に、実施形態に係る広告コンテンツ記憶部３２の一例を示す。図４に示した例では、広告コンテンツ記憶部３２は、「広告主ＩＤ」、「広告コンテンツ」、「入札価格」、「ＣＴＲ（Click Through Rate）」といった項目を有する。
【００４１】
「広告主ＩＤ」は、広告主又は広告主端末２０を識別するための識別情報を示す。「広告コンテンツ」は、広告主端末２０から入稿された広告コンテンツを示す。図４では「広告コンテンツ」に「Ａ１０」といった概念的な情報が格納される例を示したが、実際には、静止画像や動画像やテキストデータやＵＲＬ、又は、これらの格納場所を示すファイル

パス名などが格納される。

【００４２】

「入札価格」は、広告主が広告コンテンツを入稿する際に指定する広告料金を示す。例えば、「入札価格」は、広告コンテンツがユーザに１回クリックされた際に広告主から広告配信者（例えば、広告装置３０又は配信装置１００の管理者）に支払われる単価に該当する。

【００４３】

「ＣＴＲ」は、広告コンテンツがクリックされた回数を広告コンテンツの表示回数によって除算した値を示す。なお、端末装置１０に配信されたことがない広告コンテンツのＣＴＲには、予め決められている固定値や、全ての広告コンテンツにおけるＣＴＲの平均値や、同一の広告カテゴリ（例えば、車、旅行）に属する全ての広告コンテンツにおけるＣＴＲの平均値などが記憶される。また、「ＣＴＲ」には、ＣＴＲの予測モデル等から予測される予測ＣＴＲが記憶されてもよい。このような予測ＣＴＲは、例えば、広告コンテンツの種別や、広告コンテンツが表示されるウェブページの種別等によって予測される。

【００４４】

すなわち、図４では、広告主ＩＤ「Ｂ１０」によって識別される広告主が、入札価格「１００」を指定するとともに、広告コンテンツ「Ａ１０」を入稿した例を示している。また、図４では、広告コンテンツ「Ａ１０」のＣＴＲが「０．０２」である例を示している。

【００４５】

制御部３３は、例えば、ＣＰＵ（Central Processing Unit）やＭＰＵ（Micro Processing Unit）等によって、広告装置３０内部の記憶装置に記憶されている各種プログラムがＲＡＭを作業領域として実行されることにより実現される。また、制御部３３は、例えば、ＡＳＩＣ（Application Specific Integrated Circuit）やＦＰＧＡ（Field Programmable Gate Array）等の集積回路により実現される。

【００４６】

図３に示すように、制御部３３は、入稿受付部３４と、要求受付部３５と、抽出部３６と、配信部３７とを有し、以下に説明する情報処理の機能や作用を実現または実行する。なお、制御部３３の内部構成は、図３に示した構成に限られず、後述する情報処理を行う構成であれば他の構成であってもよい。また、制御部３３が有する各処理部の接続関係は、図３に示した接続関係に限られず、他の接続関係であってもよい。

【００４７】

入稿受付部３４は、広告主端末２０から広告コンテンツの入稿を受け付ける。具体的には、入稿受付部３４は、入札価格の指定とともに広告コンテンツの入稿を受け付ける。そして、入稿受付部３４は、入稿元の広告主に対応する広告主ＩＤに対応付けて、受け付けた入札価格及び広告コンテンツを広告コンテンツ記憶部３２に格納する。

【００４８】

要求受付部３５は、端末装置１０から広告コンテンツの取得要求を受け付ける。例えば、要求受付部３５は、広告コンテンツの取得要求として、ＨＴＴＰリクエストを受け付ける。

【００４９】

抽出部３６は、要求受付部３５によって広告コンテンツの取得要求が受け付けられた場合に、配信候補の広告コンテンツを広告コンテンツ記憶部３２から抽出する。例えば、抽出部３６は、広告コンテンツ記憶部３２に記憶されている広告コンテンツのうち、入札価格又はＣＴＲが高い広告コンテンツや、入札価格及びＣＴＲの双方が高い広告コンテンツを優先して抽出する。

【００５０】

配信部３７は、広告コンテンツ記憶部３２に記憶されている広告コンテンツを配信する。具体的には、配信部３７は、広告コンテンツの取得要求を送信した端末装置１０に対して、抽出部３６によって抽出された広告コンテンツを配信する。

【００５１】
〔４．配信装置の構成〕
次に、図５を用いて、実施形態に係る配信装置１００の構成について説明する。図５は、実施形態に係る配信装置１００の構成例を示す図である。図５に示すように、配信装置１００は、通信部１１０と、コンテンツ記憶部１２０と、制御部１３０とを有する。
【００５２】
通信部１１０は、例えば、ＮＩＣ等によって実現される。そして、通信部１１０は、ネットワークＮと有線又は無線で接続され、端末装置１０や広告装置３０との間で情報の送受信を行う。
【００５３】
コンテンツ記憶部１２０は、例えば、ＲＡＭ、フラッシュメモリ等の半導体メモリ素子、または、ハードディスク、光ディスク等の記憶装置によって実現される。そして、コンテンツ記憶部１２０は、コンテンツの一例であるウェブページを記憶する。例えば、コンテンツ記憶部１２０は、ウェブページを形成するＨＴＭＬファイルや、ウェブページに表示される静止画像や動画像を記憶する。
【００５４】
コンテンツ記憶部１２０に記憶されるウェブページには、広告コンテンツを取得するための広告取得命令が含まれる。コンテンツ記憶部１２０に記憶されるウェブページには、ＪａｖａＳｃｒｉｐｔ（登録商標）やＣＳＳ等のスクリプト言語によりに記述される制御情報が含まれる。この制御情報は、ウェブページ及び広告コンテンツの表示態様を制御する。具体的には、実施形態に係る制御情報は、広告コンテンツの表示位置を制御する。また、制御情報は、ウェブページと重ならない広告コンテンツの領域をクリック領域として特定する。そして、制御情報は、広告コンテンツのクリック領域をクリック可能な状態で表示するよう制御する。また、制御情報は、ウェブページと重なる広告コンテンツの領域を非クリック領域として特定する。そして、制御情報は、広告コンテンツの非クリック領域をクリック不可能な状態でウェブページと重ねて表示するよう制御する。このとき、制御情報は、広告コンテンツとウェブページとの双方をユーザが視認できるように、広告コンテンツの非クリック領域を影として表示するよう制御する。また、実施形態に係る制御情報は、端末装置１０によって検知される端末装置１０の物理的な状態に応じて広告コンテンツの表示態様を変化させる。例えば、制御情報は、図１の例のように、端末装置１０が傾きと連動して広告コンテンツの表示位置を変化させる。
【００５５】
制御部１３０は、例えば、ＣＰＵやＭＰＵ等によって、配信装置１００内部の記憶装置に記憶されている各種プログラム（配信プログラムの一例に相当）がＲＡＭを作業領域として実行されることにより実現される。また、制御部１３０は、例えば、ＡＳＩＣやＦＰＧＡ等の集積回路により実現される。
【００５６】
図５に示すように、制御部１３０は、受付部１３１と、配信部１３２とを有し、以下に説明する情報処理の機能や作用を実現または実行する。なお、制御部１３０の内部構成は、図５に示した構成に限られず、後述する情報処理を行う構成であれば他の構成であってもよい。また、制御部１３０が有する各処理部の接続関係は、図５に示した接続関係に限られず、他の接続関係であってもよい。
【００５７】
受付部１３１は、端末装置１０からウェブページの取得要求を受け付ける。例えば、受付部１３１は、ウェブページの取得要求として、ＨＴＴＰリクエストを受け付ける。
【００５８】
配信部１３２は、受付部１３１によってウェブページの取得要求が受け付けられた場合に、ウェブページ及び制御情報を端末装置１０に配信する。具体的には、配信部１３２は、コンテンツ記憶部１２０から取得要求対象のウェブページを取得し、取得したウェブページを端末装置１０に配信する。上記の通り、コンテンツ記憶部１２０に記憶されている

ウェブページには制御情報が含まれるので、配信部１３２は、ウェブページ及び制御情報を配信することとなる。

【００５９】

なお、上述したコンテンツ記憶部１２０は、制御情報を含むウェブページではなく、ウェブページと制御情報とを個別に記憶してもよい。例えば、コンテンツ記憶部１２０は、ウェブページを形成するＨＴＭＬファイルと、制御情報が記述されたファイルとを対応付けて記憶してもよい。この場合、配信部１３２は、ウェブページ及び制御情報の双方を端末装置１０に配信する。

【００６０】

〔５．端末装置の構成〕

次に、図６を用いて、実施形態に係る端末装置１０の構成について説明する。図６は、実施形態に係る端末装置１０の構成例を示す図である。図６に示すように、端末装置１０は、通信部１１と、入力部１２と、出力部１３と、制御部１４と、検知部２１とを有する。

【００６１】

通信部１１は、例えば、ＮＩＣ等によって実現される。そして、通信部１１は、ネットワークＮと有線又は無線で接続され、広告装置３０や配信装置１００との間で情報の送受信を行う。

【００６２】

入力部１２は、ユーザから各種操作を受け付ける入力装置である。例えば、入力部１２は、キーボードやマウスや操作キー等によって実現される。出力部１３は、各種情報を表示するための表示装置である。例えば、出力部１３は、液晶ディスプレイ等によって実現される。なお、端末装置１０にタッチパネルが採用される場合には、入力部１２と出力部１３とは一体化される。

【００６３】

検知部２１は、端末装置１０に関する物理的な状態を検知する。実施形態に係る検知部２１は、端末装置１０における物理的な動きの変化を検知し、検知結果を制御部１４に出力する。かかる検知部２１は、例えばジャイロセンサ等によって実現され、端末装置１０における３軸（ｘ方向、ｙ方向、ｚ方向）の角速度を検知する。なお、検知部２１による角速度の検知方式には、振動式、光学式、回転式、流体式などの方式が採用される。

【００６４】

制御部１４は、例えば、ＣＰＵやＭＰＵ等によって、端末装置１０内部の記憶装置に記憶されている各種プログラム（表示プログラムの一例に相当）がＲＡＭを作業領域として実行されることにより実現される。例えば、この各種プログラムは、ウェブブラウザと呼ばれるアプリケーションプログラムに該当する。また、制御部１４は、例えば、ＡＳＩＣやＦＰＧＡ等の集積回路により実現される。

【００６５】

図６に示すように、制御部１４は、要求部１５と、受付部１６と、表示部１７とを有し、以下に説明する情報処理の機能や作用を実現または実行する。なお、制御部１４の内部構成は、図６に示した構成に限られず、後述する情報処理を行う構成であれば他の構成であってもよい。また、制御部１４が有する各処理部の接続関係は、図６に示した接続関係に限られず、他の接続関係であってもよい。

【００６６】

要求部１５は、入力部１２を用いたユーザ操作に従って、配信装置１００にウェブページの取得要求を送信する。また、要求部１５は、受付部１６によって受け付けられたウェブページに広告取得命令が含まれる場合に、広告コンテンツの取得要求を広告装置３０に送信する。

【００６７】

受付部１６は、ウェブページと広告コンテンツとを受け付ける。具体的には、受付部１６は、要求部１５によって送信されたウェブページの取得要求に応答した配信装置１００

からウェブページを受け付ける。このとき、受付部１６は、ウェブページに広告取得命令が含まれる場合には、広告コンテンツの取得要求を送信するよう要求部１５に指示する。そして、受付部１６は、要求部１５によって送信された広告コンテンツの取得要求に応答した広告装置３０から広告コンテンツを受け付ける。

【００６８】

表示部１７は、受付部１６によって受け付けられたウェブページに含まれる制御情報に従って、ウェブページ及び広告コンテンツを出力部１３に表示する。具体的には、表示部１７は、ウェブページを表示する。そして、表示部１７は、ウェブページと重ならない広告コンテンツの領域をクリック可能な状態で表示し、ウェブページと重なる広告コンテンツの領域をクリック不可能な状態でウェブページとともに表示する。このとき、実施形態に係る表示部１７は、ウェブページと重なる広告コンテンツの領域を影として表示する。

【００６９】

また、表示部１７は、制御情報に従って、検知部２１による検知結果に応じて広告コンテンツの表示態様を変化させる。例えば、上述した検知部２１は、表示部１７によってウェブページが最初に表示されてから端末装置１０が動かされた場合に、端末装置１０の角速度を検知する。この場合、表示部１７は、検知部２１によって検知された角速度から、端末装置１０が傾けられた方向及び角度を求める。そして、表示部１７は、端末装置１０が傾けられた方向及び角度に基づいて、広告コンテンツを移動させる。このとき、表示部１７は、端末装置１０が傾けられた角度が大きいほど広告コンテンツを高速に移動させてもよい。

【００７０】

〔６．他の表示例〕

上記では、図１に例示した表示態様を用いながら端末装置１０による広告表示処理について説明した。しかし、この例に限られず、端末装置１０は、他の表示態様により広告表示処理を行うこともできる。この点について、図７を用いて説明する。図７は、実施形態に係る広告表示処理の一例を示す図である。

【００７１】

図７に示したウェブページＣ１０は、広告表示領域ＡＲ１３を含む。広告表示領域ＡＲ１３は、広告枠等と呼ばれ、所定の広告コンテンツが表示される。一般に、広告表示領域ＡＲ１３は、ウェブページＣ１０の固定の位置に設けられる。

【００７２】

図７の例では、端末装置１０は、図１の左側と同様に、最初に広告コンテンツＡ１０をウェブページＣ１０と重ねて表示する。その後に、図７の右側に示すようにユーザによって端末装置１０が傾けられたものとする。この場合、端末装置１０は、端末装置１０が傾けられた方向Ｆ１２に広告コンテンツＡ１０を移動させる。そして、端末装置１０は、移動後の広告コンテンツＡ１０が広告表示領域ＡＲ１３に到達した場合に、広告表示領域ＡＲ１３と重なる広告コンテンツＡ１０の領域を新たなクリック領域とし、広告表示領域ＡＲ１３と重ならない広告コンテンツＡ１０の領域を非クリック領域とする。そして、端末装置１０は、新たなクリック領域をクリック可能な状態、かつ、新たなクリック領域に対応する画像を広告表示領域ＡＲ１３上に表示する。また、端末装置１０は、新たな非クリック領域をクリック不可能な状態で影として表示する。図７では、広告コンテンツＡ１０の全体が広告表示領域ＡＲ１３に移動した例を示している。すなわち、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０全体を新たなクリック領域として表示する。

【００７３】

このように、端末装置１０は、ウェブページＣ１０に設けられた広告表示領域ＡＲ１３に広告コンテンツＡ１０が移動した場合に、広告コンテンツＡ１０をクリック領域としてもよい。これにより、端末装置１０は、ウェブページＣ１０上で広告コンテンツＡ１０のクリック領域及び非クリック領域を変動させることができるので、ゲーム性を有する広告表示を実現できる。この結果、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０の広告効果を向上させることができる。

【００７４】
図７の例の場合、配信装置１００の配信部１３２は、広告コンテンツを図７のように表示制御する制御情報を含むウェブページＣ１０を端末装置１０に配信する。この制御情報は、広告表示領域ＡＲ１３と重なる広告コンテンツの領域をクリック領域とする制御等を行う。
【００７５】
〔７．広告配信処理のフロー〕
次に、図８を用いて、実施形態に係る広告配信システム１による広告配信処理の手順について説明する。図８は、実施形態に係る広告配信システム１による広告配信処理手順を示すシーケンス図である。
【００７６】
図８に示すように、端末装置１０は、ユーザ操作に従って、ウェブページの取得要求を配信装置１００に送信する（ステップＳ１０１）。そして、配信装置１００は、ウェブページの取得要求に応じて、制御情報を含むウェブページを端末装置１０に配信する（ステップＳ１０２）。なお、配信装置１００によって配信されるウェブページには、広告装置３０のＵＲＬ等である広告取得命令が含まれる。
【００７７】
続いて、端末装置１０は、ウェブページに含まれる広告取得命令に基づいて、広告コンテンツの取得要求を広告装置３０に送信する（ステップＳ１０３）。そして、広告装置３０は、広告コンテンツの取得要求に応じて、広告コンテンツを端末装置１０に配信する（ステップＳ１０４）。
【００７８】
そして、端末装置１０は、ステップＳ１０２において受信したウェブページに含まれる制御情報に従って、ウェブページとステップＳ１０４において受信した広告コンテンツとを表示する広告表示処理を行う（ステップＳ１０５）。
【００７９】
〔８．広告表示処理のフロー〕
次に、図９を用いて、図８のステップＳ１０５に示した広告表示処理の手順について説明する。図９は、実施形態に係る端末装置１０による広告表示処理手順を示すフローチャートである。なお、図９に示す広告表示処理手順は、ウェブページに含まれる制御情報に従って端末装置１０の表示部１７により行われる。また、図９では、広告コンテンツを移動させる例について説明する。
【００８０】
図９に示すように、端末装置１０は、配信装置１００から受信したウェブページを表示する（ステップＳ２０１）。続いて、端末装置１０は、制御情報による制御に従って、広告装置３０から受信した広告コンテンツの表示位置を特定する（ステップＳ２０２）。
【００８１】
続いて、端末装置１０は、広告コンテンツの表示位置に基づいて、ウェブページと重ならない広告コンテンツの領域をクリック領域として特定する（ステップＳ２０３）。このとき、端末装置１０は、ウェブページに広告表示領域が含まれる場合には、広告表示領域と重なる広告コンテンツの領域をクリック領域として特定する。また、端末装置１０は、広告コンテンツの表示位置に基づいて、ウェブページと重なる広告コンテンツの領域を非クリック領域として特定する（ステップＳ２０４）。
【００８２】
そして、端末装置１０は、広告コンテンツのクリック領域をクリック可能な状態で表示する（ステップＳ２０５）。また、端末装置１０は、広告コンテンツの非クリック領域をクリック不可能な状態で影として表示する（ステップＳ２０６）。
【００８３】
続いて、端末装置１０は、端末装置１０に関する物理的な状態の変化を検知したか否かを判定する（ステップＳ２０７）。そして、端末装置１０は、状態変化を検知した場合に

（ステップＳ２０７；Ｙｅｓ）、検知結果に応じて広告コンテンツの表示態様を変化させる（ステップＳ２０８）。

【００８４】

続いて、端末装置１０は、移動後の広告コンテンツの表示位置に基づいて、広告コンテンツの新たなクリック領域を特定する（ステップＳ２０９）。同様に、端末装置１０は、移動後の広告コンテンツの表示位置に基づいて、広告コンテンツの新たな非クリック領域を特定する（ステップＳ２１０）。

【００８５】

そして、端末装置１０は、新たなクリック領域をクリック可能な状態で表示する（ステップＳ２１１）。また、端末装置１０は、新たな非クリック領域をクリック不可能な状態で影として表示する（ステップＳ２１２）。

【００８６】

〔９．変形例〕

上述した実施形態に係る広告配信システム１は、上記実施形態以外にも種々の異なる形態にて実施されてよい。そこで、以下では、広告配信システム１の他の実施形態について説明する。なお、以下に説明する端末装置１０は、ウェブページに含まれる制御情報に従って、広告コンテンツの表示処理を行う。

【００８７】

〔９－１．表示位置に応じた広告コンテンツの表示態様〕

上記実施形態において、端末装置１０は、広告コンテンツの表示位置を変化させた場合に、移動後の広告コンテンツと重なるウェブページの領域に画像等の所定の情報が表示されるか否かを判定してもよい。そして、端末装置１０は、広告コンテンツと重なるウェブページの領域に所定の情報が表示される場合に、ウェブページの前面に広告コンテンツをクリック可能な状態で表示してもよい。この点について、図１０を用いて説明する。図１０は、変形例に係る広告表示処理の一例を示す図である。

【００８８】

図１０の左側に示すように、端末装置１０は、図１の左側と同様に、最初に広告コンテンツＡ１０をウェブページＣ１０と重ねて表示する。そして、端末装置１０は、端末装置１０が傾けられた結果、広告コンテンツＡ１０をコンテンツ表示領域ＣＲ１４まで移動させたものとする。

【００８９】

ここで、コンテンツ表示領域ＣＲ１４には、天気マーク等の画像等が表示されるものとする。このような画像と広告コンテンツＡ１０とが重ねて表示された場合、ウェブページＣ１０及び広告コンテンツＡ１０の双方が見えづらくなることも考えられる。具体的には、図１０の例において、端末装置１０は、静止画像である広告コンテンツＡ１０がウェブページＣ１０上の画像まで移動した場合には、画像同士を重ねて表示することになる。そして、画像同士を重ねて表示されると、ユーザにとって見づらい表示態様となるおそれがある。

【００９０】

そこで、端末装置１０は、図１０の右側に示すように、広告コンテンツＡ１０をウェブページＣ１０上の画像まで移動させた場合には、ウェブページＣ１０の前面に広告コンテンツＡ１０を表示する。すなわち、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０を影としてではなく、広告コンテンツＡ１０に対応する画像自体を表示する。

【００９１】

このように、端末装置１０は、移動後の広告コンテンツＡ１０と重なるウェブページＣ１０の領域に画像等の所定の情報が表示される場合に、広告コンテンツＡ１０を前面に表示することで、ウェブページＣ１０及び広告コンテンツＡ１０が見えづらくなることを防止できる。

【００９２】

図１０の例の場合、配信装置１００の配信部１３２は、図１０のように表示制御する制

御情報を含むウェブページＣ１０を端末装置１０に配信する。例えば、配信部１３２は、移動後の広告コンテンツと重なるウェブページの領域に画像等の所定の情報が表示されるか否かを判定する処理や、ウェブページの領域に所定の情報が表示されると判定した場合に広告コンテンツをウェブページの前面に表示する処理などを制御する制御情報を配信する。

【００９３】

なお、図１０では、端末装置１０が、移動後の広告コンテンツＡ１０とウェブページＣ１０上の画像とが重なる場合に、広告コンテンツＡ１０を前面に表示する例を示したが、この例に限られない。具体的には、端末装置１０は、移動後の広告コンテンツＡ１０と重なるウェブページＣ１０上の表示情報が所定値以上の情報量を有する場合に、広告コンテンツＡ１０を前面に表示してもよい。例えば、端末装置１０は、記事等の文字データが隙間なく表示されるウェブページＣ１０上に広告コンテンツＡ１０を移動させた場合に、移動後の広告コンテンツＡ１０をウェブページＣ１０の前面に表示してもよい。

【００９４】

〔９－２．広告コンテンツの表示態様（１）〕

また、上記実施形態では、広告コンテンツの表示態様における変化として、広告コンテンツを移動させる例を示した。しかし、端末装置１０は、広告コンテンツ自体を変化させてもよい。この点について、図１１を用いて説明する。図１１は、変形例に係る広告表示処理の一例を示す図である。

【００９５】

図１１の例において、端末装置１０は、広告装置３０から広告コンテンツＡ２０及びＡ３０を受け付ける。ここでは、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０は、同一の広告主によって広告装置３０に入稿されたものとする。また、広告コンテンツＡ２０は、ビール瓶の静止画像である。また、広告コンテンツＡ３０は、グラスの静止画像である。

【００９６】

まず、端末装置１０は、図１１の左側に示すように、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０をウェブページＣ１０と重ねて表示する。ここの例では、端末装置１０は、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０の全体をウェブページＣ１０と重ねて表示する。すなわち、端末装置１０は、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０をクリック不可能な状態で影として表示する。

【００９７】

そして、端末装置１０は、図１１の右側に示すように、ユーザによって端末装置１０が傾けられた場合に、端末装置１０の傾きに応じて広告コンテンツＡ２０を傾けて表示する。そして、端末装置１０は、広告コンテンツＡ２０に写るビール瓶から、広告コンテンツＡ３０に写るグラスへビールが注がれているかのように、広告コンテンツＡ３０の表示態様を徐々に変化させる。

【００９８】

このように、端末装置１０は、端末装置１０を物理的に動かすユーザ操作に応じて、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０の表示態様を変化させるので、ユーザを広告コンテンツＡ１０に注目させることができる。この結果、端末装置１０は、広告コンテンツＡ１０の広告効果を向上させることができる。

【００９９】

なお、図１１の例において、端末装置１０は、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０をクリック可能な状態で表示してもよい。具体的には、端末装置１０は、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０のうち、ウェブページＣ１０のリンク領域と重ならない領域をクリック可能な状態で表示してもよい。この場合、端末装置１０は、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０のうち、ウェブページＣ１０のリンク領域と重なる領域についてはクリック不可能な状態で表示する。すなわち、ウェブページＣ１０のリンク領域を常に有効にする。例えば、図１１の左側の場合、端末装置１０は、コンテンツ表示領域ＣＲ１３に表示されるアンカーテキスト「レストランｒ１」～「レストランｒ５」と重なる広告コンテンツＡ３０の領域をクリック不可能な状態で表示し、アンカーテキスト「レストランｒ１」～「レストランｒ

５」と重ならない広告コンテンツＡ３０の領域をクリック可能な状態で表示する。そして、端末装置１０は、アンカーテキスト「レストランｒ１」～「レストランｒ５」についてはクリック可能な状態で表示する。

【０１００】

これにより、端末装置１０は、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０を介して広告ページに遷移させることができるので、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０を提供する広告主にとって有益な広告表示を実現することができる。また、端末装置１０は、ウェブページＣ１０のリンク領域をクリック可能な状態で表示することで、ユーザがウェブページＣ１０を操作できる状態を維持するので、ウェブページ配信者にとって有益な広告表示を実現することができる。

【０１０１】

また、図１１の例において、端末装置１０は、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０における変化後の表示態様が所定の条件を満たした場合に、ウェブページＣ１０の前面に広告コンテンツＡ２０及びＡ３０をクリック可能な状態で表示してもよい。この点について、図１２を用いて説明する。図１２は、変形例に係る広告表示処理の一例を示す図である。

【０１０２】

図１２の例の場合、端末装置１０は、ビールが満杯に注がれたグラスに対応する広告コンテンツＡ３０を表示した場合に、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０をウェブページＣ１０の前面にクリック可能な状態で表示する。すなわち、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０における表示態様が「グラスにビールが満杯に注がれる」という条件を満たした場合に、端末装置１０は、広告コンテンツＡ２０及びＡ３０をウェブページＣ１０の前面に表示する。

【０１０３】

これにより、端末装置１０は、所定の表示態様となった場合に広告コンテンツＡ２０及びＡ３０が前面に表示されるので、端末装置１０を動かすユーザ操作にゲーム性を持たせることができる。このため、端末装置１０は、ユーザを広告コンテンツＡ２０及びＡ３０により注目させることができる。

【０１０４】

〔９－３．広告コンテンツの表示態様（２）〕

また、上記実施形態において、端末装置１０は、端末装置１０に関する物理的な状態に応じて、広告コンテンツの表示領域を変化させてもよい。この点について、図１３及び図１４を用いて説明する。図１３及び図１４は、変形例に係る広告表示処理の一例を示す図である。

【０１０５】

図１３及び図１４では、端末装置１０は、ウェブページＣ１０の広告表示領域ＡＲ１３に広告コンテンツＡ４０の一部領域を表示する。具体的には、端末装置１０は、ユーザが広告表示領域ＡＲ１３から広告コンテンツＡ４０を覗き込んでいるかのように、広告コンテンツＡ４０の一部領域を表示する。

【０１０６】

より具体的に説明すると、端末装置１０は、図１３の左側に横線で示した広告コンテンツＡ４０のように、ユーザとの間で端末装置１０を挟む位置に広告コンテンツＡ４０を仮想的に配置する。このとき、端末装置１０は、ウェブページＣ１０の広告表示領域ＡＲ１３よりも大きいサイズの広告コンテンツＡ４０を仮想的に配置する。そして、端末装置１０は、ユーザと端末装置１０との位置関係に応じて、広告表示領域ＡＲ１３に表示させる広告コンテンツＡ４０の領域を決定する。

【０１０７】

具体的には、端末装置１０は、最初にウェブページＣ１０を表示する場合には、図１３に示したように端末装置１０の表示面とユーザとが正対しているものと仮定する。そして、端末装置１０は、仮想的に配置された広告コンテンツＡ４０のうち、端末装置１０において表示されている広告表示領域ＡＲ１３と対向する広告コンテンツＡ４０の領域Ａ４１

を表示対象とする。すなわち、端末装置１０は、図１３の右側に示すように、ウェブページＣ１０の広告表示領域ＡＲ１３に、広告コンテンツＡ４０の領域Ａ４１を表示する。

【０１０８】

続いて、図１４に示すように、端末装置１０が、ユーザによって傾けられたものとする。例えば、端末装置１０は、縦方向（ｙ方向）を中心軸とする円弧状に傾けられたものとする。この場合、端末装置１０は、検知部２１によって検知された角速度から、端末装置１０が傾けられた角度を求める。具体的には、端末装置１０は、図１３に示した状態を基準として、端末装置１０が傾けられた角度θ１０を求める。そして、端末装置１０は、図１４に示すように、角度θ１０に傾けられた端末装置１０における広告表示領域ＡＲ１３と対向する広告コンテンツＡ４０の領域Ａ４２を特定する。そして、端末装置１０は、図１４の右側に示すように、ウェブページＣ１０の広告表示領域ＡＲ１３に、広告コンテンツＡ４０の領域Ａ４２を表示する。

【０１０９】

このように、端末装置１０は、端末装置１０を物理的に動かすユーザ操作に応じて、広告コンテンツＡ４０の表示態様を変化させるので、ユーザを広告コンテンツＡ４０に注目させることができる。例えば、図１４に示した端末装置１０は、端末装置１０を傾けるユーザ操作と連動させて広告コンテンツＡ４０の表示領域を変動させるので、ユーザを広告コンテンツＡ４０に注目させることができる。この結果、端末装置１０は、広告コンテンツＡ４０の広告効果を向上させることができる。

【０１１０】

図１３及び図１４の例の場合、配信装置１００の配信部１３２は、図１３及び図１４のように表示制御する制御情報を含むウェブページＣ１０を端末装置１０に配信する。例えば、配信部１３２は、端末装置１０の角度に応じて広告コンテンツの表示領域を変化させる処理などを制御する制御情報を配信する。

【０１１１】

なお、図１３では、端末装置１０が、ウェブページＣ１０を最初に表示する際に、端末装置１０の表示面とユーザとが正対しているものと仮定する例について説明した。しかし、この例に限られず、端末装置１０は、ユーザと端末装置１０との位置関係に基づいて、図１４に示した角度θ１０を算出し、かかる角度θ１０に基づいて、広告コンテンツＡ４０の表示領域を決定してもよい。

【０１１２】

例えば、端末装置１０は、表示面側にカメラ等の撮像部を有し、ウェブページＣ１０を最初に表示する際に撮像部によってユーザを撮像する。そして、端末装置１０は、撮像画像を解析することにより、端末装置１０の表示面に対するユーザとの位置を求めることで、上述した角度θ１０を算出する。そして、端末装置１０は、角度θ１０に基づいて広告コンテンツＡ４０の表示領域を決定する。これにより、端末装置１０は、ウェブページＣ１０を最初に表示する場合であっても、ユーザと端末装置１０との位置関係に応じた広告表示を実現することができる。

【０１１３】

〔９－４．ウェブページの選定〕

また、上記実施形態において、端末装置１０は、ウェブページの種別に応じて、ウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示させるか否かを決定してもよい。この点について図１５を用いて説明する。図１５は、変形例に係る広告表示処理の一例を示す図である。

【０１１４】

図１５に示したウェブページＣ３０は、例えば画像の検索結果画面に該当し、画像Ｇ１１～Ｇ１５が隙間なく表示される。このようなウェブページＣ３０に広告コンテンツを重ねて表示した場合、ウェブページＣ３０及び広告コンテンツの双方が見づらい表示態様になることが考えられる。図１に示した例と比較して具体的に説明する。例えば、図１に示したウェブページＣ１０には、文字や画像が表示されない隙間が存在する。このため、ウェブページＣ１０と広告コンテンツＡ１０とを重ねて表示した場合であっても、影として

表示される広告コンテンツＡ１０の領域Ａ１２には、ウェブページＣ１０に表示される文字や画像と重ならない部分が存在する。すなわち、図１の例の場合、影のみが表示される領域が適度に存在するので、ウェブページＣ１０及び広告コンテンツＡ１０の双方が見えづらくなりにくい。一方、図１５に示したウェブページＣ３０には、画像等が隙間なく表示される。このため、ウェブページＣ３０と広告コンテンツとを重ねて表示した場合、影として表示される広告コンテンツは、全体的にウェブページＣ３０に表示される画像と重なることになる。すなわち、図１５の例の場合、ウェブページＣ３０及び広告コンテンツの双方が見えづらくなる傾向にある。そこで、端末装置１０は、図１５に示したウェブページＣ３０のように、広告コンテンツが表示される隙間が狭いウェブページには広告コンテンツを重ねて表示する処理を行わなくてもよい。

【０１１５】

ここで、ウェブページに広告コンテンツを表示するための隙間が存在するか否かは、ウェブページの種別によって決定することができる。例えば、ニュース記事等が表示されるウェブページは、文字が隙間なく表示されることは稀であり、広告コンテンツを表示するための隙間が存在する傾向にある。また、図１５の例のように、画像の検索結果が表示されるウェブページは、画像が隙間なく表示されることが多く、広告コンテンツを表示する隙間が狭い傾向にある。このため、端末装置１０は、ウェブページの種別に応じて、ウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示するか否かを決定することができる。例えば、端末装置１０は、ウェブページの種別が「ニュースページ」等である場合には、図１に示した例のようにウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示する処理を行う。また、例えば、端末装置１０は、ウェブページの種別が「画像検索結果」等である場合には、ウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示する処理を行わない。

【０１１６】

このように、端末装置１０は、広告コンテンツを重ねて示させることに適したウェブページを選定することで、ウェブページ及び広告コンテンツが見えづらくなることを防止できる。

【０１１７】

なお、端末装置１０は、上記例に限られず、一般的なユーザによるウェブページの閲覧時間に基づいて、ウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示するか否かを決定してもよい。例えば、他のウェブページへのリンク集が表示されるウェブページは、一般的に、ユーザによって目的のリンク先が発見されるまで閲覧される。このため、ユーザがリンク集等のウェブページを閲覧する時間が短い傾向にある。一方、ニュース記事等が表示されるウェブページは、ニュース記事が読み終わるまで閲覧される。このため、ユーザがニュース記事等のウェブページを閲覧する時間は長い傾向にある。すなわち、リンク集等のウェブページに広告コンテンツを表示した場合であっても、ユーザに広告コンテンツが注目されない場合がある。このようなことから、端末装置１０は、例えば、ウェブページの種別が「ニュースページ」等である場合には、図１に示した例のようにウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示する処理を行い、ウェブページの種別が「リンクサイト」等である場合には、ウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示する処理を行わないようにしてもよい。

【０１１８】

図１５の例の場合、配信装置１００の配信部１３２は、ウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示するか否かを判定する制御情報を端末装置１０に配信する。例えば、この制御情報には、ウェブページの種別毎に、かかるウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示するか否かを示す表示有無情報が含まれる。そして、制御情報は、ウェブページを形成するＨＴＭＬファイル等を解析することでウェブページの種別を取得する。または、制御情報は、ウェブページを形成するＨＴＭＬファイル等に記述されているウェブページの種別を取得する。そして、制御情報は、ウェブページの種別と表示有無情報とに基づいて、ウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示するか否かを判定する。

【０１１９】

なお、ウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示するか否かを判定する判定処理は、制御情報ではなく、配信装置１００によって行われてもよい。この場合、配信装置１００は、上述した表示有無情報を保持する。そして、配信装置１００の配信部１３２は、配信対象のウェブページの種別と表示有無情報とに基づいて、ウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示するか否かを判定する。そして、配信部１３２は、ウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示すると判定した場合には、図１等の表示態様を実現する制御情報を含むウェブページを端末装置１０に配信する。一方、配信部１３２は、ウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示しないと判定した場合には、図１等の表示態様を実現する制御情報を含まないウェブページを端末装置１０に配信する。すなわち、配信部１３２は、ウェブページの種別に応じて、ウェブページに含める制御情報を動的に変動させてもよい。

【０１２０】

〔９－５．センサ〕

また、上記実施形態では、端末装置１０の検知部２１がジャイロセンサである例を示したが、この例に限られない。例えば、検知部２１は、加速度を検知する加速度センサや、回転ベクトルを検知する回転ベクトルセンサなどであってもよい。

【０１２１】

また、例えば、検知部２１は、端末装置１０周囲の照度を検知する照度センサであってもよい。この場合、端末装置１０は、検知部２１によって検知される照度に応じて、広告コンテンツの表示態様を変化させる。例えば、広告装置３０は、広告主に対して、ユーザの周囲が明るい場合に表示させる広告コンテンツと、ユーザの周囲が暗い場合に表示させる広告コンテンツとを入稿させる。そして、端末装置１０は、周囲の照度に応じて、表示対象の広告コンテンツを切り替えてもよい。

【０１２２】

また、例えば、検知部２１は、周囲の温度を検知する温度センサや、周囲の湿度を検知する湿度センサや、端末装置１０に物体（ユーザなど）が接近しているかを検知する近接センサなどであってもよい。この場合であっても、端末装置１０は、検知部２１によって検知される温度や湿度などに応じて、広告コンテンツの表示態様を変化させる。

【０１２３】

また、端末装置１０は、上述した複数種類のセンサを有してもよい。例えば、端末装置１０は、ジャイロセンサ及び照度センサを有してもよい。この場合、端末装置１０は、ジャイロセンサによる検知結果と、照度センサによる検知結果とに基づいて、広告コンテンツの表示態様を変化させる。

【０１２４】

〔９－６．広告コンテンツの入稿〕

また、上記実施形態において、広告装置３０の入稿受付部３４は、上述してきた広告コンテンツの表示態様を広告主に選択させてもよい。具体的には、入稿受付部３４は、図１、図７、図１０、図１１、図１２、図１３、図１４に例示した広告コンテンツの表示態様の一部又は全ての中から、広告主が所望する表示態様を選択させてもよい。このとき、入稿受付部３４は、広告コンテンツ全体が広告表示領域に表示される一般的な広告コンテンツの表示態様を選択可能にしてもよい。

【０１２５】

また、入稿受付部３４は、広告主によって選択された表示態様に応じて、広告コンテンツの詳細な表示態様を広告主に指定させてもよい。例えば、入稿受付部３４は、広告コンテンツが最初に表示される位置や、広告コンテンツの移動速度や、広告コンテンツの移動速度などを広告主に指定させてもよい。

【０１２６】

なお、入稿受付部３４は、広告コンテンツの詳細な表示態様を広告主に指定させた場合には、各種指定情報（例えば、表示位置や移動速度に関する情報）を広告コンテンツ記憶部３２に格納する。そして、広告装置３０の配信部３７は、広告コンテンツとともに各種

指定情報を端末装置１０に配信する。そして、端末装置１０は、広告装置３０によって送信された各種指定情報に基づいて広告コンテンツを表示する。すなわち、ウェブページに含まれる制御情報は、各種指定情報に基づいて広告コンテンツの表示態様を制御する。

【０１２７】

〔９－７．装置構成〕

また、上記実施形態では、広告配信システム１に、広告装置３０と配信装置１００とが含まれる例を示したが、広告装置３０と配信装置１００とは１個の装置として形成されてもよい。この場合、図５に示した配信装置１００は、例えば、図３に示した広告コンテンツ記憶部３２、入稿受付部３４及び抽出部３６を有する。そして、配信装置１００は、端末装置１０からウェブページの取得要求を受け付けた場合に、広告コンテンツ記憶部３２から抽出した広告コンテンツとともに、広告取得命令を含まないウェブページを端末装置１０に配信する。

【０１２８】

また、上記実施形態では、広告装置３０から端末装置１０に広告コンテンツが配信される例を示したが、配信装置１００が、広告装置３０から広告コンテンツを取得してもよい。この場合、広告装置３０の要求受付部３５は、配信装置１００から広告コンテンツの取得要求を受け付ける。また、広告装置３０の配信部３７は、配信装置１００に広告コンテンツを配信する。また、配信装置１００の配信部１３２は、広告装置３０から取得した広告コンテンツとともに、広告取得命令を含まないウェブページを端末装置１０に配信する。

【０１２９】

〔９－８．その他〕

また、上記実施形態では、広告コンテンツが影として表示される例を示したが、端末装置１０は、広告コンテンツに所定値以上の透明度を設定した上でウェブページと重ねて表示してもよい。例えば、端末装置１０は、ウェブページよりも透過性のある状態で広告コンテンツを表示する。このとき、端末装置１０は、ウェブページよりもコントラストが小さい状態で広告コンテンツを表示してもよいし、ウェブページよりも濃淡差が小さい状態で広告コンテンツを表示してもよい。この場合であっても、端末装置１０は、ウェブページと広告コンテンツとの双方をユーザが視認できる状態で広告コンテンツを表示することができる。

【０１３０】

また、上記実施形態では、広告コンテンツやウェブページのリンク領域を選択するユーザ操作を「クリック」と表記したが、かかるユーザ操作は、マウスを用いたクリック操作に限られない。例えば、上述してきた「クリック」は、指によって広告コンテンツ等をタップする操作や、視線によって広告コンテンツ等を選択する操作であってもよい。

【０１３１】

また、上記実施形態では、ウェブページに広告コンテンツが重ねて表示される例を示したが、広告コンテンツと重ねて表示されるコンテンツは、ウェブページに限られない。例えば、上述してきた広告コンテンツは、携帯電話ゲーム等の画面に表示されてもよい。

【０１３２】

また、上記実施形態では、広告コンテンツを例に挙げて説明したが、ウェブページに表示されるコンテンツは、広告目的の広告コンテンツに限られない。例えば、上述してきた広告コンテンツは、天気情報や震災情報などを通知するためのコンテンツであってもよい。

【０１３３】

また、上記実施形態において説明した各処理のうち、自動的に行われるものとして説明した処理の全部または一部を手動的に行うこともでき、あるいは、手動的に行われるものとして説明した処理の全部または一部を公知の方法で自動的に行うこともできる。この他、上記文書中や図面中で示した処理手順、具体的名称、各種のデータやパラメータを含む情報については、特記する場合を除いて任意に変更することができる。例えば、各図に示

した各種情報は、図示した情報に限られない。
【０１３４】
また、図示した各装置の各構成要素は機能概念的なものであり、必ずしも物理的に図示の如く構成されていることを要しない。すなわち、各装置の分散・統合の具体的形態は図示のものに限られず、その全部または一部を、各種の負荷や使用状況などに応じて、任意の単位で機能的または物理的に分散・統合して構成することができる。例えば、図６に示した要求部１５及び受付部１６は統合されてもよい。
【０１３５】
また、上述してきた各実施形態は、処理内容を矛盾させない範囲で適宜組み合わせることが可能である。例えば、図７に示した実施形態と、図１０に示した実施形態とを組み合わせることができる。
【０１３６】
〔９－９．ハードウェア構成〕
また、上述してきた実施形態に係る端末装置１０及び配信装置１００は、例えば図１６に示すような構成のコンピュータ１０００によって実現される。以下、端末装置１０を例に挙げて説明する。図１６は、端末装置１０の機能を実現するコンピュータ１０００の一例を示すハードウェア構成図である。コンピュータ１０００は、ＣＰＵ１１００、ＲＡＭ１２００、ＲＯＭ１３００、センサ１４００、無線通信機１５００、入出力インターフェイス（Ｉ／Ｆ）１６００、およびメディアインターフェイス（Ｉ／Ｆ）１７００を有する。なお、センサ１４００は、上述した検知部２１に対応する。また、無線通信機１５００は、上述した通信部１１に対応する。
【０１３７】
ＣＰＵ１１００は、ＲＯＭ１３００に格納されたプログラムに基づいて動作し、各部の制御を行う。ＲＯＭ１３００は、コンピュータ１０００の起動時にＣＰＵ１１００によって実行されるブートプログラムや、コンピュータ１０００のハードウェアに依存するプログラム等を格納する。無線通信機１５００は、基地局を介して他の機器からデータを受信してＣＰＵ１１００へ送り、ＣＰＵ１１００が生成したデータを、基地局を介して他の機器へ送信する。
【０１３８】
ＣＰＵ１１００は、入出力インターフェイス１６００を介して、出力装置、および、タッチパネル等の入力装置やセンサ１４００を制御する。ＣＰＵ１１００は、入出力インターフェイス１６００を介して、入力装置やセンサ１４００からデータを取得する。また、ＣＰＵ１１００は、生成したデータを入出力インターフェイス１６００を介して出力装置へ出力する。
【０１３９】
メディアインターフェイス１７００は、記録媒体１８００に格納されたプログラムまたはデータを読み取り、ＲＡＭ１２００を介してＣＰＵ１１００に提供する。ＣＰＵ１１００は、当該プログラムを、メディアインターフェイス１７００を介して記録媒体１８００からＲＡＭ１２００上にロードし、ロードしたプログラムを実行する。記録媒体１８００は、例えば磁気記録媒体または半導体メモリ等である。
【０１４０】
コンピュータ１０００が実施形態における端末装置１０として機能する場合、コンピュータ１０００のＣＰＵ１１００は、ＲＡＭ１２００上にロードされたプログラムを実行することにより、制御部１４の機能を実現する。
【０１４１】
コンピュータ１０００のＣＰＵ１１００は、これらのプログラムを記録媒体１８００から読み取って実行するが、他の例として、他の装置から通信回線１１を介してこれらのプログラムを取得してもよい。
【０１４２】
〔１０．効果〕

上述してきたように、実施形態に係る端末装置１０は、受付部１６と、検知部２１と、表示部１７とを有する。受付部１６は、ウェブページ（第１コンテンツの一例に相当）と広告コンテンツ（第２コンテンツの一例に相当）とを受け付ける。検知部２１は、端末装置１０に関する物理的な状態を検知する。表示部１７は、ウェブページと広告コンテンツとを重ねて表示するとともに、検知部２１による検知結果に応じて広告コンテンツの表示態様を変化させる。

【０１４３】

これにより、実施形態に係る端末装置１０は、端末装置１０を物理的に動かすユーザ操作と連動させて広告コンテンツの表示態様を変化させるので、ユーザを広告コンテンツに注目させることができる。この結果、端末装置１０は、広告コンテンツの広告効果を向上させることができる。

【０１４４】

また、実施形態に係る端末装置１０において、表示部１７は、ウェブページと重ならない広告コンテンツの領域をクリック可能な状態（選択可能な状態の一例に相当）で表示するとともに、ウェブページと重なる広告コンテンツの領域をクリック不可能な状態（選択不可能な状態の一例に相当）で表示する。

【０１４５】

これにより、実施形態に係る端末装置１０は、広告コンテンツを介して広告ページに遷移させることができるので、広告主にとってより有益な広告表示を実現することができる。また、端末装置１０は、ユーザがウェブページを操作できる状態を維持するので、ユーザビリティの低下を防止できるとともに、ウェブページ配信者にとって有益な広告表示を実現することができる。

【０１４６】

また、実施形態に係る端末装置１０において、表示部１７は、ウェブページに含まれる広告表示用の広告表示領域と重なる広告コンテンツの領域をクリック可能な状態で表示する。

【０１４７】

また、実施形態に係る端末装置１０において、表示部１７は、ウェブページが表示されない領域と重なる広告コンテンツの領域をクリック可能な状態で表示する。

【０１４８】

また、実施形態に係る端末装置１０において、表示部１７は、検知部２１による検知結果に応じて広告コンテンツの表示位置を変化させる。

【０１４９】

また、実施形態に係る端末装置１０において、表示部１７は、表示位置を変化させた後の広告コンテンツと重なるウェブページの領域に所定の情報が表示される場合に、ウェブページの前面に広告コンテンツをクリック可能な状態で表示する。

【０１５０】

これにより、実施形態に係る端末装置１０は、広告コンテンツの広告効果を向上させることができる。

【０１５１】

また、実施形態に係る端末装置１０において、表示部１７は、広告コンテンツにおける変化後の表示態様が所定の条件を満たした場合に、ウェブページの前面に広告コンテンツをクリック可能な状態で表示する。

【０１５２】

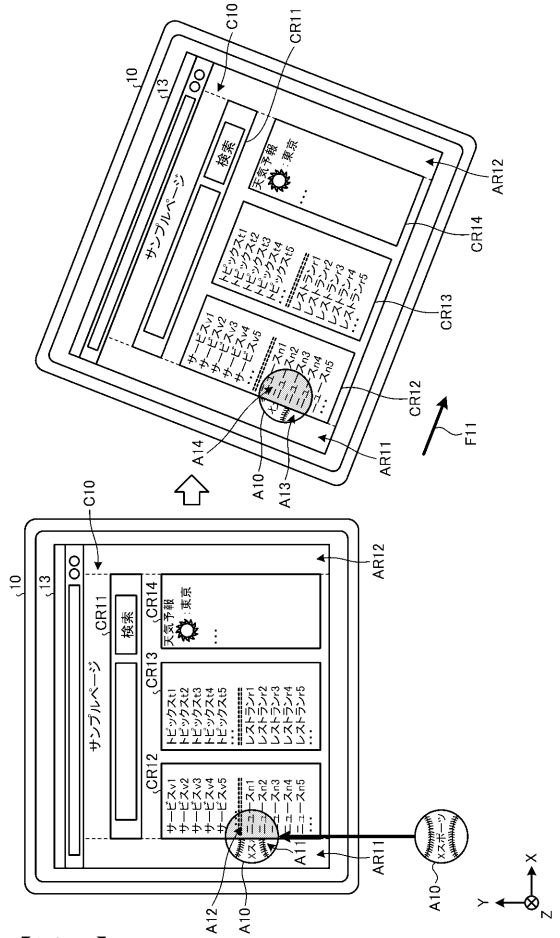
また、実施形態に係る端末装置１０において、表示部１７は、検知部２１による検知結果に応じて、表示対象とする広告コンテンツの領域を変化させる。

【０１５３】

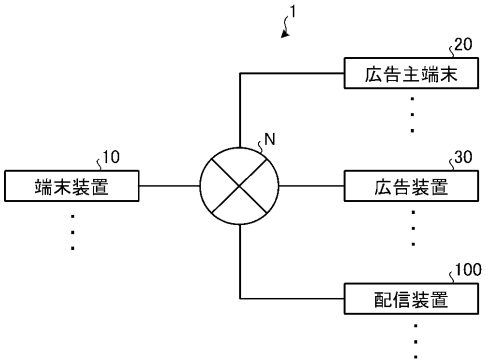
また、実施形態に係る端末装置１０において、検知部２１は、物理的な状態として端末装置１０における物理的な動きの変化を検知する。また、表示部１７は、検知部２１によって検知された動きの変化と連動させて広告コンテンツの表示態様を変化させる。

【０１５４】
これにより、実施形態に係る端末装置１０は、端末装置１０を動かすユーザ操作にゲーム性を持たせることができるので、ユーザを広告コンテンツに注目させることができる。この結果、端末装置１０は、広告コンテンツの広告効果を向上させることができる。
【０１５５】
また、実施形態に係る端末装置１０において、表示部１７は、ウェブページと重なる広告コンテンツをウェブページよりも透過性のある状態で表示する。
【０１５６】
これにより、実施形態に係る端末装置１０は、広告コンテンツをユーザに強く印象付けることができるので、広告コンテンツの広告効果を向上させることができる。
【０１５７】
また、実施形態に係る配信装置１００は、受付部１３１と、配信部１３２とを有する。受付部１３１は、端末装置１０に関する物理的な状態を検知する端末装置１０から、ウェブページの取得要求を受け付ける。配信部１３２は、受付部１３１によって取得要求が受け付けられた場合に、広告コンテンツとともに表示されるウェブページと、端末装置１０による検知結果に応じて広告コンテンツの表示態様を変化させる制御情報とを配信する。
【０１５８】
これにより、実施形態に係る配信装置１００は、端末装置１０を物理的に動かすユーザ操作と連動させて広告コンテンツの表示態様を変化させるので、ユーザを広告コンテンツに注目させることができる。この結果、配信装置１００は、広告コンテンツの広告効果を向上させることができる。
【０１５９】
以上、本願の実施形態のいくつかを図面に基づいて詳細に説明したが、これらは例示であり、発明の開示の欄に記載の態様を始めとして、当業者の知識に基づいて種々の変形、改良を施した他の形態で本発明を実施することが可能である。
【符号の説明】
【０１６０】
１　広告配信システム
１０　端末装置
１５　要求部
１６　受付部
１７　表示部
２１　検知部
１００　配信装置
１２０　コンテンツ記憶部
１３０　制御部
１３１　受付部
１３２　配信部

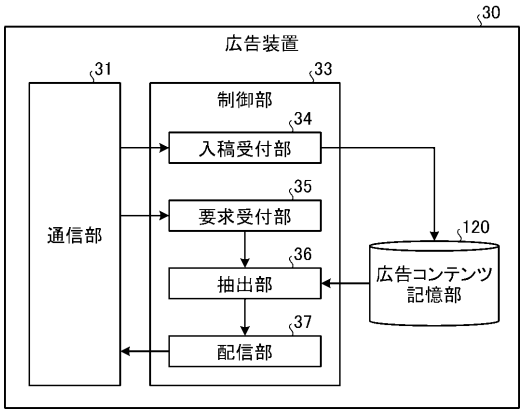
【図１】



【図２】



【図３】

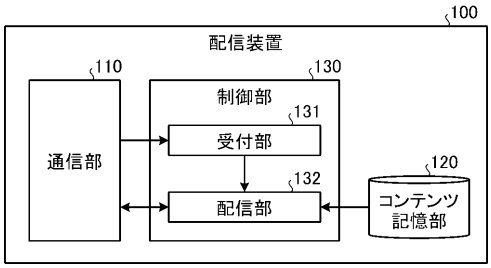


【図４】

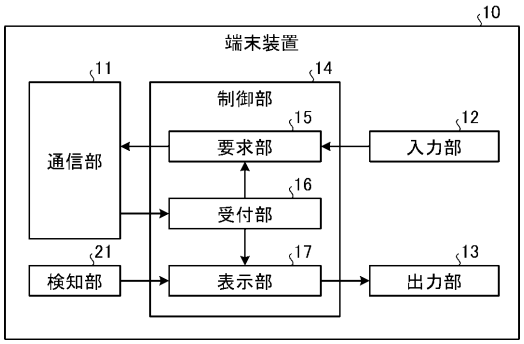
32

広告主ID	広告コンテンツ	入札価格	CTR
B10	A10	100	0.02
	A20	50	0.01
	A30	150	0.02
	・・・	・・・	・・・
B20	A40	100	0.01
	A50	50	0.02
	・・・	・・・	・・・
・・・	・・・	・・・	・・・

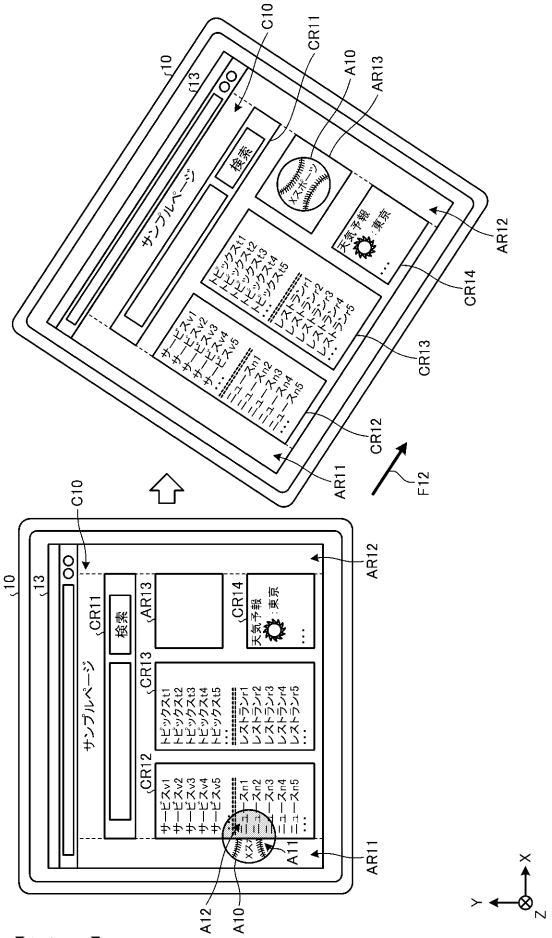
【図５】



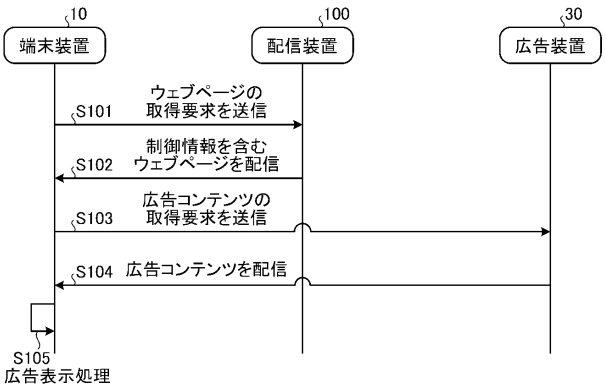
【図６】



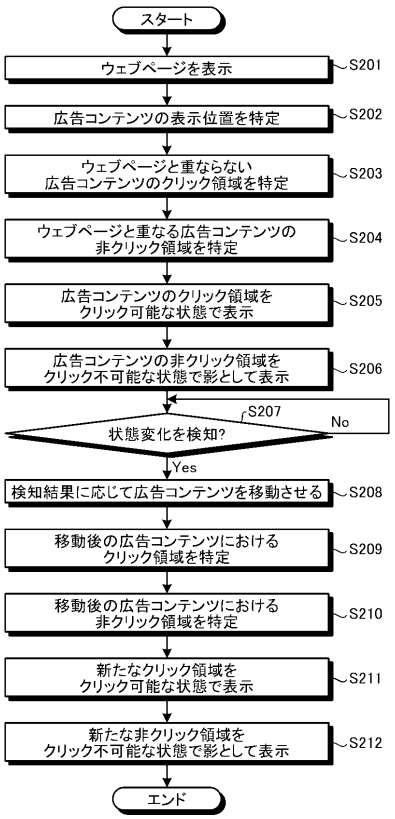
【図７】


10
C10
CR11
A10
AR13
AR12
CR14
CR13
CR12
AR11
F12
検索
サンプルページ
天気予報
東京
トピックス1
トピックス2
トピックス3
トピックス4
トピックス5
レストラン1
レストラン2
レストラン3
レストラン4
レストラン5
サービス1
サービス2
サービス3
サービス4
サービス5
ニュース1
ニュース2
ニュース3
ニュース4
ニュース5
A11
A12
X
Y
Z

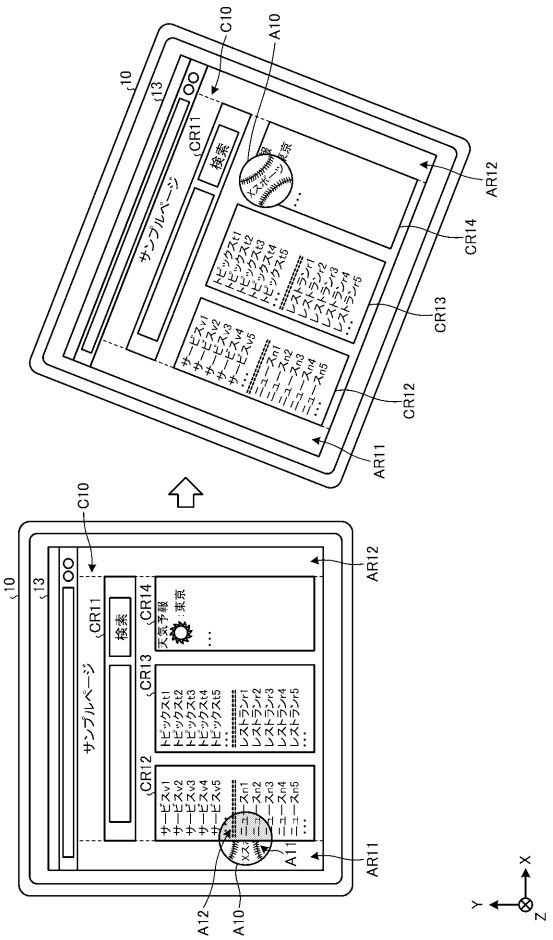
【図８】


10
端末装置
100
配信装置
30
広告装置
S101
ウェブページの
取得要求を送信
S102
制御情報を含む
ウェブページを配信
S103
広告コンテンツの
取得要求を送信
S104
広告コンテンツを配信
S105
広告表示処理

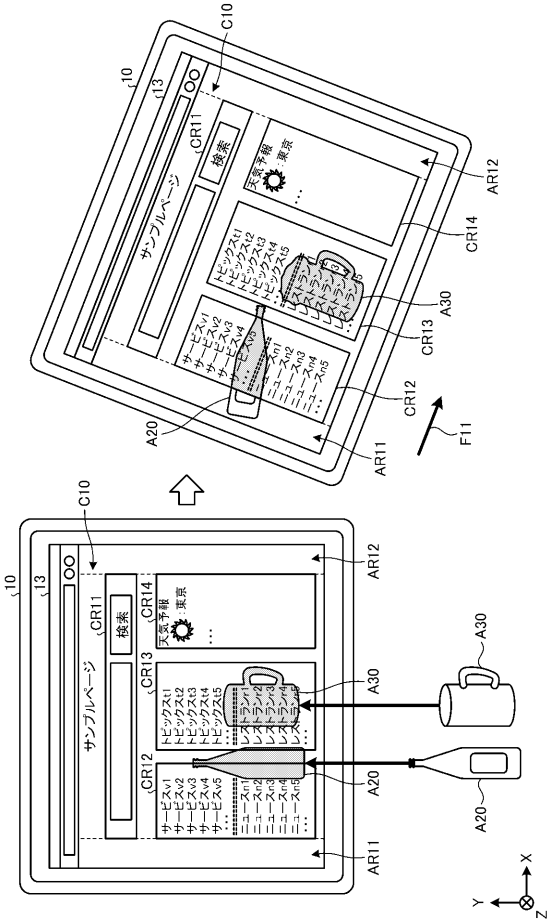
【図９】


スタート
ウェブページを表示
S201
広告コンテンツの表示位置を特定
S202
ウェブページと重ならない
広告コンテンツのクリック領域を特定
S203
ウェブページと重なる広告コンテンツの
非クリック領域を特定
S204
広告コンテンツのクリック領域を
クリック可能な状態で表示
S205
広告コンテンツの非クリック領域を
クリック不可能な状態で影として表示
S206
S207
状態変化を検知?
No
Yes
検知結果に応じて広告コンテンツを移動させる
S208
移動後の広告コンテンツにおける
クリック領域を特定
S209
移動後の広告コンテンツにおける
非クリック領域を特定
S210
新たなクリック領域を
クリック可能な状態で表示
S211
新たな非クリック領域を
クリック不可能な状態で影として表示
S212
エンド

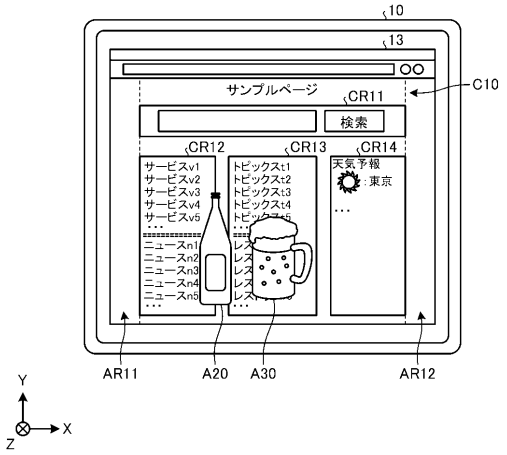
【図１０】


10
C10
A10
CR11
AR12
CR14
CR13
CR12
AR11
検索
サンプルページ
天気予報
東京
トピックス1
トピックス2
トピックス3
トピックス4
トピックス5
レストラン1
レストラン2
レストラン3
レストラン4
レストラン5
サービス1
サービス2
サービス3
サービス4
サービス5
ニュース1
ニュース2
ニュース3
ニュース4
ニュース5
A11
A12
X
Y
Z

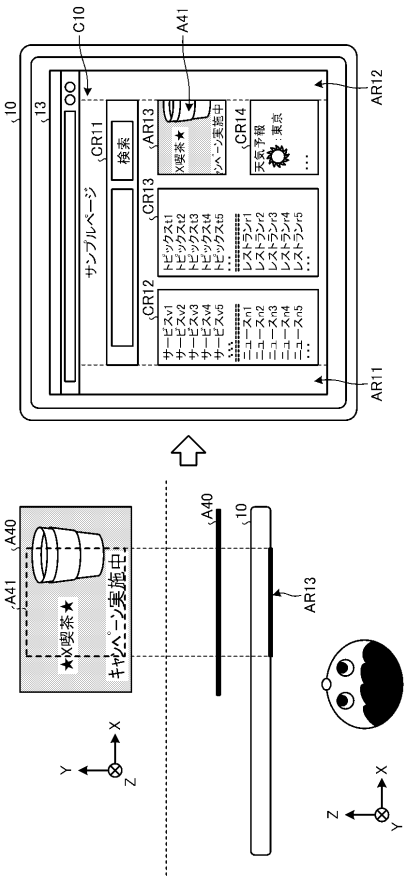
【図１１】



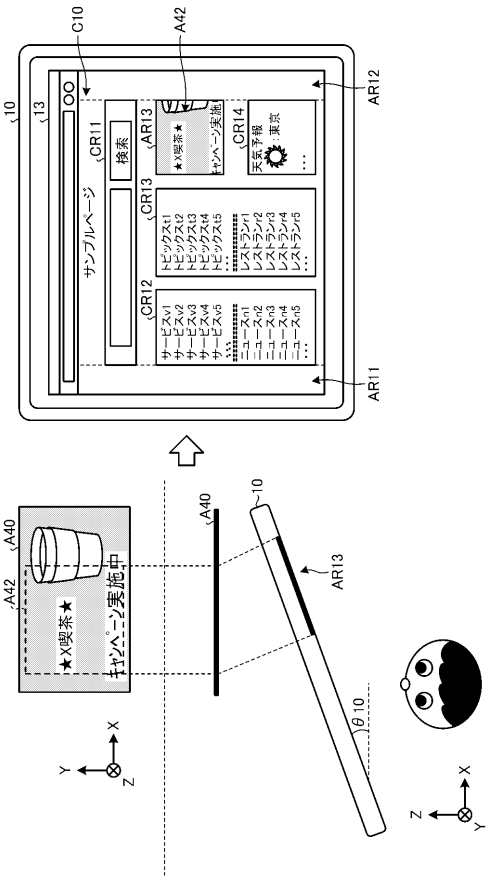
【図１２】



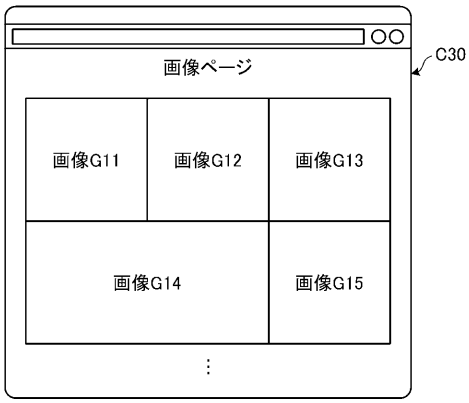
【図１３】



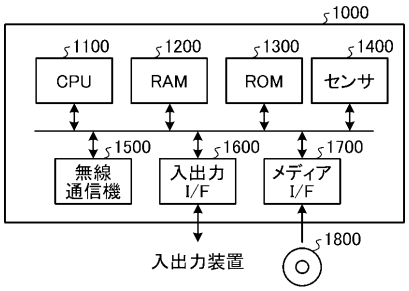
【図１４】



【図１５】


画像ページ
C30
画像G11
画像G12
画像G13
画像G14
画像G15

【図１６】


1000
1100
CPU
1200
RAM
1300
ROM
1400
センサ
1500
無線
通信機
1600
入出力
I/F
1700
メディア
I/F
1800
入出力装置

フロントページの続き

審査官　菊池　智紀

(56)参考文献　特開２０１１－１０３０７３（ＪＰ，Ａ）
特開２０１３－１３４４９４（ＪＰ，Ａ）
特開２００９－２８２８５７（ＪＰ，Ａ）
特開２０１０－０９２０８６（ＪＰ，Ａ）
国際公開第２０１２／１６１２３７（WO，Ａ１）
国際公開第２０１１／０５２５１３（WO，Ａ１）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｇ０６Ｆ　　３／００－３／０４８９
Ｇ０６Ｑ　３０／０２
Ｇ０９Ｆ　１９／００
Ｈ０４Ｍ　　１／００